## 曽我家主屋

主屋は南面して建つ木造平屋建の町家で、間口3間半の店の奥に廊下、中庭を介して3間続きの座敷が続く。屋根は本町通り側一面のみ寄棟造の切妻造で桟瓦葺である。北面は防火壁で蔵造となり白漆喰塗である。

店は街路に面する東側に格子窓を設け、南側下屋に玄関を開く。本町通りに玄関を設ける一般の町家と異なった意匠である。



主屋東面



東面及び北面



南面(店・主屋・玄関)



南面の店の奥が座敷